

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共施設（環境衛生施設：川下地区排水路）整備事業										
補助事業者名	岩国市										
実施場所	岩国市川下町二丁目地内										
補助事業の成果の目標	本地区については、周辺地域の市街化により潜在遊水池が減少し、慢性的に排水能力が不足していることから、降雨時に浸水被害が発生している。 このため、本事業により新たに排水路を整備することで、浸水被害を軽減し、地域住民の生活環境の改善を図る。										
補助事業の内容	排水路工事 延長L=286.0m										
補助事業の始期及び終期	平成24年度～令和2年度										
事業費及び交付金額		平成 24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度	2年度	計
	事業費	円 9,905,000	円 24,642,414	円 14,209,898	円 9,058,000	円 20,253,800	円 0	円 38,559,193	円 0	円 40,447,195	円 157,075,500
	交付金額	円 9,752,000	円 23,350,000	円 13,888,000	円 9,058,000	円 18,820,000	円 0	円 37,279,000	円 0	円 37,948,000	円 150,095,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	地域住民へのアンケート調査では、道路冠水等が改善したとの回答を得られ、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。 特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。 1) 工事看板 2) 周知用リーフレット 3) 市ホームページ（事業評価書の掲載）										
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無										

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(産業振興に寄与する施設:農道大町2号線護岸改修工事)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市柱島地内						
補助事業の成果の目標	農道大町2号線は、岩国市柱島の北岸に位置し、集落から島内営農地へ連絡する農道であるが、平成26年10月の台風19号による波浪によって、護岸の土砂が吸い出され、護岸の沈下及び農道の陥没が発生した。 護岸及び農道を改修することにより、島内耕作者の営農環境の改善を図る。						
補助事業の内容	護岸改修工事(護岸改修L=93.0m、舗装L=108.0m)						
補助事業の始期及び終期	平成28年度から令和元年度						
事業費及び交付金額		28年度	29年度	30年度	元年度		計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	11,878,612	29,258,712	32,718,354	39,217,142		113,072,820
	交付金額	11,185,000	28,000,000	31,500,000	35,600,000		106,285,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、農道護岸の機能が改善され、営農環境の改善を図ることができた。</p> <p>また、地域住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者14人中14人から「改善した」との回答を得ることができた。</p> <p>本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設(交通施設:門前町44号線ほか改良舗装事業)整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市門前町四丁目地内						
補助事業の成果の目標	市道門前町44号線、42号線、43号線、61号線は、道路側溝及び舗装が老朽化していることから、降雨時に雨水が溜まり、歩行者等の快適な通行に支障をきたしているところである。 このため、本路線の道路側溝及び舗装の工事を行い、歩行者等が快適に通行できる環境を整えることで、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	改良舗装工事 延長L=325.2m 幅員W=1.85m~6.3m						
補助事業の始期及び終期	平成26年度~令和2年度						
事業費及び交付金額		26年度	28年度	29年度	元年度	2年度	合計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	5,000,000	5,180,000	4,760,000	3,700,000	1,965,000	20,605,000
	交付金額	4,900,000	4,500,000	4,600,000	3,433,000	1,904,000	19,337,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、道路側溝及び舗装の改良に伴い、雨水溜りが改善され、歩行者等が快適に通行できる環境が整い、地域住民の生活環境の改善を図ることができた。 また、地域住民へのアンケート調査を実施したところ、回答者11人中11人から「改善した」との回答を得ることができた。 本事業が、防衛省の交付金事業である旨を工事看板等に記載するとともに市ホームページへ本事業評価書を掲載することにより、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：藤生街区公園施設改修）整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市藤生町二丁目地内						
補助事業の成果の目標	藤生街区公園は多くの地区住民が利用する公園であるため、汲み取り式の老朽化したトイレをユニバーサルデザインのトイレに改修し、水洗化も行う。また、併せて公園の出入口等の整備も行い、子どもから高齢者など、誰もが利用しやすい公園とし、安全かつ快適な利用環境を整備する。						
補助事業の内容	便所改築工事 一式、公園施設改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和元年度～令和2年度						
事業費及び交付金額		令和元年度	令和2年度				計
		円	円				円
	事業費	2,610,920	24,218,018				26,828,938
	交付金額	2,524,000	23,237,000				25,761,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	公園利用者にトイレや休憩施設、公園出入口の改築後の利便性についてのアンケート調査を行い、トイレ改築後の満足度が「利便性について」93%、「設備について」97%、「安全性について」95%となり、出入口・環境整備等による満足度が「環境整備について」90%、「安全性について」90%、ベンチ等施設更新後の満足度が89%となったことから、安全かつ快適な利用環境を整備する事ができたことを確認した。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることを、工事看板、工事のお知らせ、トイレ本体にプレート看板を設置し地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民が利用しやすいよう自治会等と連携を密にし事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共施設(消防に関する施設:消防ポンプ自動車整備事業) 整備事業						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	岩国市消防団 岩国東方面隊 川下分団第1部消防車庫 (岩国市中津町二丁目1-2)						
補助事業の成果の目標	本市の岩国東方面隊川下分団第1部に配備している消防ポンプ自動車は、すでに配備から19年が経過しており、交換用部品の入手困難となっている状況である。今後、不具合が発生した際には、修理不可能となる事態が想定される。このため、老朽化した消防ポンプ自動車を更新することで、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制を整え、地域住民の生活環境の改善を図る。						
補助事業の内容	消防ポンプ自動車 1台(CD-I型)						
補助事業の始期及び終期	令和2年度						
事業費及び交付金額		2年度					計
	事業費	14,564,000	円	円	円	円	円
	交付金額	14,564,000					14,564,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことにより、火災発生時に迅速かつ確実な消防活動が行える体制が整備できた。</p> <p>また、分団員へのアンケート調査の結果、火災発生時に迅速かつ確実な消火活動が行える体制の整備に貢献すると思うという評価が100%であり、その理由として、「操作が簡単になった」「各バルブの開閉状況がパネルに表示されわかりやすくなった」等の意見であった。</p> <p>当該事業が交付金事業である旨を車両本体に記載し、地域住民の周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、計画的に消防車両を更新することにより、消防力の向上を図り、地域住民の生活環境の改善を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連公共施設(環境衛生施設:防犯設備)整備事業				
補助事業者名	岩国市				
実施場所	岩国市麻里布町三丁目地内ほか				
補助事業の成果の目標	防犯カメラを設置することにより、市民生活に悪影響を及ぼす犯罪の未然防止及び犯罪や事故が発生した場合に迅速な対応を図り、安心して安全なまちづくりの推進を図る。				
補助事業の内容	防犯カメラ 167台				
補助事業の始期及び終期	平成30年度～令和2年度				
事業費及び交付金額		平成30年度	令和元年度	令和2年度	計
	事業費	18,513,360 円	59,458,300 円	78,035,100 円	156,006,760 円
	交付金額	18,513,000 円	59,458,000 円	78,035,000 円	156,006,000 円
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業について、自治会へのアンケート調査を行い、「防犯カメラが各主な所に付いていればその付近だけでも意識するので防止効果がUPする」等の回答を得ているところであり、安心して安全なまちづくりの推進に貢献していることを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを周知用リーフレット及び市ホームページに掲載することで、市民全体に周知を図った。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、今後の事業について検討を行う。				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(住民の生活の安全に関する事業:岩国市防犯設備基金事業)						
補助事業者名	岩国市						
実施場所	市内全域						
補助事業の成果の目標	市民生活に悪影響を及ぼす犯罪、事故等を未然に防止する環境を醸成し、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりを推進する。						
補助事業の内容	防犯灯電気料金の助成、防犯カメラの維持管理						
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和6年度						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度予定	計
	事業費	円 3,392,920	円 31,706,671	円 24,794,294	円 24,206,359	円 26,254,000	円 110,354,244
	基金 交付金額	73,000,000	17,210,000	26,364,000	35,543,000	16,379,000	168,496,000
	市町村費						0
	その他						0
	運用益	1,018	34,726	31,902	62,042	54,543	184,231
	計	73,001,018	17,244,726	26,395,902	35,605,042	16,433,543	168,680,231
基金処 分額	0	3,392,920	31,706,671	24,794,294	24,206,359	84,100,244	
基金残 額	73,001,018	86,852,824	81,542,055	92,352,803	84,579,987		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業について、自治会へのアンケート調査を行い、「地域の道路が明るくなり、犯罪の抑止につながっている」「民家がまばらで明かりが少ないため、防犯灯の効果は大きい」等の回答を得ているところであり、犯罪、事故等を未然に防止する環境が醸成され、市民が安心・安全に暮らすことができるまちづくりの推進に貢献していることを確認した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを広報誌、ホームページ及び自治会ハンドブックに掲載することで、市民全体に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市学校給食運営基金事業)							
補助事業者名	岩国市							
実施場所	市内全域							
補助事業の成果の目標	学校給食において、児童及び生徒の食に関する正しい理解と望ましい食習慣を養うとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりを推進する。							
補助事業の内容	学校給食の無償化							
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和8年度							
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 予定	計	
	事業費	円 18,997,200	円 402,790,812	367,968,125	円 393,441,303	円 391,774,734	円 1,574,972,174	
	基金 造成 額	交付金額	190,000,000	559,595,000	544,067,000	520,431,000	519,165,000	2,333,258,000
		市町村費						0
		その他						0
		運用益	2,054	114,797	218,339	517,032	502,185	1,354,407
		計	190,002,054	559,709,797	544,285,339	520,948,032	519,667,185	2,334,612,407
	基金処分額	0	18,997,200	402,790,812	367,968,125	393,441,303	1,183,197,440	
基金残額	190,002,054	730,714,651	872,209,178	1,025,189,085	1,151,414,967			
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業を実施したことで、保護者の経済的負担の軽減を図るため、教育活動の一環である学校給食の無償化を実施し、安心して子育てができるまちづくりが推進された。</p> <p>なお、小中学校長等へのアンケート調査を行い、「コロナ禍で貧困な家庭が徐々に増加していると感じられる中、保護者の経済的負担の軽減が大きく図られ、安心して子育てに向かうことができる措置であるとともに、長期的に見れば、子どもにとって将来にわたる健康増進につながる取り組みであると考える。」等の回答を得ている。</p> <p>本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用していることを以下の箇所に記載し、本事業に係る地域住民への周知を図った。</p> <p>(1)市広報紙へ記載 (2)新入学児童生徒に対し周知文書の配布 (3)アンケート用紙に記載 (4)ホームページへ掲載</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業(教育、スポーツ及び文化に関する事業:岩国市日米交流基金事業)							
補助事業者名	岩国市							
実施場所	市内全域							
補助事業の成果の目標	教育、スポーツ、文化活動等の日米交流事業を通じて、日米の相互理解及び友好の絆を深めることにより、国際感覚の豊かな人材育成ができるまちづくりを推進する。							
補助事業の内容	日米交流事業及び愛宕山運動施設の管理運営							
補助事業の始期及び終期	平成29年度から令和5年度							
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (予定)	令和4年度 以降(予定)	計
	事業費			円	円		円	円
	基金	12,038,266	69,926,415	66,061,387	75,570,972	100,000,000	122,948,978	446,546,018
	交付金額	90,000,000	136,834,000	93,946,000	100,000,000	25,220,000		446,000,000
	市町村費							0
	その他							0
	運用益	6,805	54,863	108,857	175,812	94,014	105,667	546,018
	計	90,006,805	136,888,863	94,054,857	100,175,812	25,314,014	105,667	446,546,018
基金処分額	0	12,038,266	69,926,415	66,061,387	75,570,972	222,948,978	446,546,018	
基金残額	90,006,805	214,857,402	238,985,844	273,100,269	222,843,311	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>教育・スポーツ・文化等に関する日米交流事業として下記2事業を実施したほか、愛宕スポーツコンプレックスの運営・管理に関する事業において、日米交流を通じての相互理解や、日米の親善を深める取り組みを展開した。</p> <p>文化交流事業として開催した「クリスマスツリーを飾ろう～折り鶴で飾る祈りの木～」では、市民や米軍岩国航空基地等に折り鶴の協力を呼びかけ、集めた折り鶴をクリスマスツリーに飾り付けを行い、岩国市役所1階ロビーに展示した。日米合計2,000羽以上が集まり、アメリカ国防総省報道機関太平洋地域AFN岩国の取材を受け、取材動画はフェイスブックに掲載された。</p> <p>なお、集まった折り鶴を用いて千羽鶴を作成し、米軍岩国航空基地内のスーパー等に展示した後、広島市の平和記念公園へ寄贈した。</p> <p>令和3年2月28日に開催した「第4回日米親善リレーマラソン」ではエントリー数89チーム、917人の参加があり、日米混成チームで参加されるチームも見受けられ、日米交流の場を創出した。チーム代表者を対象としたアンケート調査では、「互いの国を関係なく応援でき、広島などアメリカ人との交流が少ない地域からの参加者も身近に感じてもらえる」や「チームが一丸となり楽しくイベントができた」、「リアルの大会はオンラインにはない盛り上がりがあった」などの肯定的な意見が多く、1本の襷をつなぐことにより、日米の友好と絆を深めることにつながったことが確認できた。</p> <p>なお、本事業が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を市ホームページ、施設掲示板、市報、イベントチラシに掲載し、地域住民への周知を図った。</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	アンケート結果を参考にして、事業を実施していく。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注:1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額(交付金・市町村費等・その他・運用益・計)、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：岩国市学校空調設備維持管理事業）							
補助事業者名	岩国市							
実施場所	岩国市地内各地							
補助事業の成果の目標	本市の市立小学校及び中学校は、空調設備が未整備の施設が多いことから、夏季に教室等の温度が上昇し、児童生徒に集中力の低下や体調不良が見られるなど、学校環境が悪化しているところである。 学校環境の改善を図るために整備した空調設備の維持管理を適切に行い、安定的な運用を行うことで、児童生徒が快適に学習できる環境を整える。							
補助事業の内容	空調設備の維持管理							
補助事業の始期及び終期	平成23年度から令和8年度							
事業費及び交付金額		29年度 まで	30年度	令和元 年度	令和2年度	3年度 予定	計	
	事業費	円 28,968,302	円 14,930,979	円 15,290,506	円 21,083,199	円 14,479,772	円 94,752,758	
	基金 造成 額	交付金額	156,121,000	0	0	0	0	156,121,000
		市町村費						
		その他						
		運用益	436,675	94,665	62,281	96,531	151,627	841,779
		計	156,557,675	94,665	62,281	96,531	151,627	156,962,779
		基金処分別	16,132,354	12,835,948	14,930,979	15,290,506	21,083,199	80,272,986
	基金残額	140,425,321	127,684,038	112,815,340	97,621,365	76,689,793		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	本事業を実施したことにより、空調設備の維持管理を適切に行うことができ、安定的な運用が可能となった。 また、各学校へのアンケート調査を実施した結果、本事業が児童生徒に対して快適な学習環境を提供することができている旨の回答を得た。 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業であることについては、空調機器に記載及びホームページへの掲載を行い、地域住民へ周知を行っている。							
事業の改善措置及び今後の対応	現場の使用状況や、アンケート結果を参考にして事業を実施							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分別及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。

事業評価書

補助事業名	岩国飛行場関連特定事業（医療に関する事業：こどもインフルエンザ予防接種助成事業）										
補助事業者名	岩国市										
実施場所	岩国市										
補助事業の成果の目標	本市では、インフルエンザ予防接種助成制度は、65歳以上の高齢者にしかなく、こどものいる家庭においてインフルエンザ予防接種は経済的に大きな負担となっている。 このため、乳幼児、小・中学校において、インフルエンザ予防接種の助成を実施し、保護者の経済的な負担を軽減することで、インフルエンザの蔓延を防止し、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。										
補助事業の内容	こどものインフルエンザ予防接種に係る費用の一部を補助する。										
補助事業の始期及び終期	平成28年10月から令和6年3月まで										
事業費及び 交付金額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計	
	事業費	円 38,533,979	円 34,773,800	円 38,496,385	円 40,170,568	円 6,039,553	円 46,603,938	円 46,603,938	円 4,362,336	円 255,584,497	
	基金 造成額	交付金額	204,000,000	51,000,000							255,000,000
		市町村費	0	0							0
		その他	0	0							0
		運用益	19,014	168,553	91,608	81,267	106,677	77,231	33,688	6,459	584,497
		計	204,019,014	51,168,553	91,608	81,267	106,677	77,231	33,688	6,459	255,584,497
	基金処分類	0	38,533,979	34,773,800	38,496,385	40,170,568	6,039,553	46,603,938	50,966,274	255,584,497	
基金残額	204,019,014	216,653,588	181,971,396	143,556,278	103,492,387	97,530,065	50,959,815	0	0		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	保護者を対象にアンケート調査を行ったところ、「この助成制度は子育て支援の一環になっている」という回答が99%得られ、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に貢献できていることを確認した。 また、当該事業が交付金事業である旨を市広報誌及び市HPへの掲載、乳幼児健診時のチラシ及びアンケート用紙への記載により、地域住民への周知を図った。										
事業の改善措置及び今後の対応	引き続き、助成事業を継続することにより、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図りたい。										
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無										

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。